

# はひとめーる

第 39 号 (平成 25 年 12 月 1 日発行)

## 「いのちの大切さを考え、 被害者支援の理解を深める」

11月3日(日)京都市勧業館「みやこめっせ」で、生命のメッセージ展・映画「ゼロからの風」の上映と京都ヒューマンフェスタ 2013 が同時開催されました。

### 生命のメッセージ展

今年も生命のメッセージ展と映画「ゼロからの風」上映がありました。映画「ゼロからの風」は、生命のミュージアム代表の鈴木共子さんが、息子さんを交通事故で亡くし、メッセージ展をすることに至る過程を描いた映画です。メッセージ展には約 2000 人、映画には 350 人の方々が来場して下さいました。

メッセージ展の準備は、前日のお昼過ぎから、京都府、京都市、京都府警察、大学生そして京都犯罪被害者支援センターからボランティア、事務局が参加し、ご遺族とともに携わりました。今年は 157 命のメッセージ展が参加しました。

準備を初めて経験した当センターボランティアの一人は、「初めての事なのでどうなるか不安に思ったが、生命のミュージアムの担当者の指示で何とか無事に設置できたのでほっとした。また、メッセージ展をすべて並べた上で、この会場にふさわしい置き方をその場で考えるというやり方にも感心した。」と感想を言葉にしていました。

今回の京都でのテーマを“通学路での交通事故”とし、『もうくり返さないでください通学路上の交通殺人』と題した横断幕の下に、通学路で命を落とした子供さん 30 命のメッセージが赤いカーペットの上に並びました。

会場では、当センターのピンク色のジャンパーを皆が着て、スタッフとして入場者を迎えました。会場に入ってこられた方々の目をまず引くのは、小さな小さなメッセージたちです。皆さん、かがみこんで写真やメッセージをじっくり見ておられました。同じ歳くらいのお子さん連れのお母さんらしき人は、涙ぐみながら丁寧に一命一命じっくり見ていかれました。嬉しいことに若い方もたくさん見に来てくれました。警察学校の学生さんが大勢来られ、映画「ゼロからの風」を見た続きで、眼を赤くしながら入場し、さらにメッセージと対面し、また涙する姿があちこちに見られました。

また、京都府知事、京都市長、副市長や議員の方々も来場され、限られた時間の中で熱心に見ておられました。

毎年、生命のメッセージ展開催にあたっては、京都府、京都市、京都府警察の皆さんと、大学生、ご遺族の方までが当センターのジャンパーを着てくださるのが恒例となり、みんなで一緒に関わる実感が持てるのが感動的です。あるご遺族が「ジャンパーを身に着けていると、誰がどこの所属の人か区別がつかないのが京都の良いところだ」と感想を述べられました。

### 京都ヒューマンフェスタ 2013

人権啓発行事「京都ヒューマンフェスタ 2013」は、京都人権啓発推進会議、京都人権啓発活動ネットワーク協議会及び京都府が主催する行事です。

今年は世界人権宣言 65 周年記念でもあり、ホールステージでは、藤本美貴さんのトークショーやアンパンマンショー、NPO 法人の活動紹介、コーラス隊の合唱等があり、フロアでは、世界各国のグルメコーナー、似顔絵コーナー、ユニバーサルデザイン体験コーナー等催し物が盛りだくさんでした。その他にも多くの団体がブースの出展をしており、当センターも多くの方々に犯罪被害者支援について知っていただけるようブースの出展、犯罪被害者相談コーナーを設けました。当センターの展示ブースでは、パネルを掲示したり、リーフレットやポケットティッシュ、機関紙等を用意し、来場者の方々に呼びかけ、手配りをしました。

私共センターにとりまして、関係する機関やご遺族の方々とはありますが、行動を共にすることが何よりの経験となります。寄添う気持ち、理解を深めようとする気持ちを大切に、この日の経験が、被害者やご遺族にとってのより良い支援へとつながることを願っています。





## 犯罪被害者週間

### ご存知ですか？

「犯罪被害者等基本法」の成立日である12月1日を最終日とする1週間（11月25日から12月1日まで）が「犯罪被害者週間」と定められています。「犯罪被害者週間」は期間中の集中的な啓発事業等の実施を通じて、犯罪被害者等が置かれている状況について国民

の理解を深めることを目的としています。当センターにおきましても「社会全体で犯罪被害者を支えるために」をテーマに街頭活動やパネル展示等を行いました。

犯罪によって受けた直接的な被害のほか、心身の不調や苦痛、周りの理解不足や中傷等、犯罪被害者等が置かれている状況をまずは知ってください。犯罪被害者等が再び平穏な生活を営むことが出来るようになるためには、国民全ての理解と配慮、そしてそれに基づく協力が重要です。

### 犯罪被害者は、こんなことに苦しんでいます。

#### 被害後の様々な状況の変化

##### 心身の不調

感情や感覚のマヒ  
恐怖・怒り・不安・自分を責める気持ち  
不眠・食欲不振・頭痛・めまい・神経過敏

##### 経済的な問題

主たる生計者の喪失  
当面の出費  
（葬祭費・医療費・転居費用・裁判費用など）  
住居の問題  
財産の喪失

##### 仕事や就労の問題

入院等によるやむを得ない欠勤  
就業困難・収入の途絶

##### 家族・親族の支えあいの喪失

被害のショックで家族が精神的に余裕のない状態  
家事・子育て・介護の問題

##### 裁判に伴う様々な負担

裁判の傍聴・証言・意見陳述などでの時間や労力  
損害賠償請求に伴う負担

#### 周りの人の言動による傷つき

周囲の人たちからの中傷や興味本位の質問

配慮に欠けるマスコミの取材や報道

犯罪被害者等は被害の弁償を受け社会的にも保護されているといった誤解

近隣や知人からの安易な励ましや慰め

各種手続の窓口での二次的被害

被害直後から元の平穏な生活を取り戻すまで一緒になって支えていきます

（京都市犯罪被害者等支援条例リーフレットより）



今年度のボランティア募集は、ホームページや新聞を通して行いました。一ヶ月に亘る募集期間を設け、11月15日をもって締め切りました。

今後、12講座の事前研修を通し、被害者支援の理解を深め、支援活動の新たな力、新しい仲間が増える事を嬉しく思います。



## 全国被害者支援ネットワーク 平成 25 年度質の向上研修上半期 近畿ブロックを担当

全国被害者支援ネットワークは、ブロックごとの研修を「質の向上研修」と改称しました。この研修は、支援活動の質の向上、支援体制の構築を目指し、上半期と下半期の年2回行うもので、近畿ブロックは大阪、滋賀、奈良、兵庫、和歌山、京都が集い、実施します。

今年度上半期近畿ブロックの研修は、私共、京都犯罪被害者支援センターが企画運営を担当し、受講者46名、スタッフ10名の体制で7月27、28日同志社大学にて開催しました。プログラム構成は、次のような目的を定め、企画しました。

一日目：最新の法律や支援者としての自己理解、リスニング技術の向上や犯罪被害者支援条例についての理解を深める。

「犯罪被害者に関連する法律及び諸制度」

弁護士 中隆志氏

「支援者としての自己理解」 臨床心理士 内藤みちよ氏  
「対人援助としてのリスニング」 臨床心理士 羽下大信氏  
「犯罪被害者支援条例について」 大学教授 川本哲郎氏

二日目：ロールプレイを通して支援者としての対応を学び、実際の直接支援に必要な能力を身につける。

「事例検討・性犯罪被害者への支援」

京都犯罪被害者支援センター

「直接支援の実際（講義・ロールプレイ）」

大阪被害者支援アドボカシーセンター

受講者は、様々な講義を受け、ロールプレイでは各センターの枠を超えたグループでの活動となり、交流も兼ねられたようです。ロールプレイについては苦手意識が強い方もおられたようですが、「繰り返す事で本当の支援の場で役に立つような経験を多く持つ事の大切さを感じた」との声が聞こえてきました。

二日間の研修を通して、一人一人が学び、感じとった事を「自分の糧」として今後の支援活動に役立て、更には各センターで共に活動するお仲間と共有していただきたいと思います。

猛暑の中、会場の空調設備の不備により、急遽、会場変更となりました。受講者の皆様にはご迷惑をおかけしましたが、皆様のご協力のおかげで和やかに充実した研修を行えた事に感謝いたします。ありがとうございました。



## 全国被害者支援ネットワークフォーラム及び秋期全国研修会に参加

10月18～20日、東京で開催された全国被害者支援ネットワーク主催のフォーラム及び秋期全国研修会に当センターからボランティア7名、事務局員4名が参加しました。18日のフォーラムでは1部で暴力団に夫を殺害された遺族の講演、2部で「犯罪被害者支援における連携と今後の展開」をテーマとしたパネルディスカッションが行われました。1部では、夫を暴力団によって殺害され、10年以上経った今なお遺体が発見されていない遺族が、当時の悲しみ、怒りの気持ちや二次被害の苦しみ、社会に望む事を訴えました。2部では、秋篠宮殿下、妃殿下ご臨席のもと、パネリストとして警察、支援センター、国土交通省と並

び当センターの川本哲郎理事が専門家としての意見を述べました。19、20日の研修会全体会では、京都市の山内浩平くらし安全推進課課長補佐と当センターの富名腰由美子事務局長が共に「被害者支援条例制定後の展開」について自分達のこれまでの経験を述べ、大きな反響を呼びました。二日間に亘る分科会では当センターからの参加者それぞれが、相談員、支援員としての様々なテーマの講義を受け、充実した三日間の幕を閉じました。研修会で学んだ事をセンターの相談員、支援員一同で共有し、今後の活動に役立てていくため、11月月例研修会で報告会を行いました。



## 温かいご支援ありがとうございます

会費及び寄付を頂戴した方々を謹んでご報告申し上げます。なお、記載漏れ等がありましたら、お手数ですが事務局までご一報いただきますようお願いいたします。また、お名前の記載を望まれない方は、お申し出ください。

会費納入者 <平成25年6月1日～10月31日>

(順不同・敬称略)

### 【正会員】

個人47名

### 【個人賛助会員】

個人81名

### 【団体賛助会員】

綾部防犯協会  
 亀岡ライオンズクラブ  
 京都府警友会八幡支部  
 園部ライオンズクラブ  
 有限会社ハヤシ不動産

右京防犯協会  
 京田辺市社会福祉協議会  
 京都府男女共同参画センター  
 福知山交通安全協会

亀岡保津川ライオンズクラブ  
 京都府警察本部交通企画課  
 社会福祉法人宇治田原町社会福祉協議会  
 福知山防犯協会

### 【法人賛助会員】

オムロン株式会社  
 株式会社サギタリウス企画  
 学校法人同志社  
 株式会社松原興産  
 亀岡市  
 京都府町村会  
 積水ハウス株式会社京都支店  
 丹後海陸交通株式会社  
 日本新薬株式会社  
 彌榮自動車株式会社  
 ワタキューセイモア株式会社

株式会社京都銀行  
 株式会社GSユアサ  
 株式会社同志社エンタープライズ  
 株式会社村田製作所  
 京セラ株式会社  
 月桂冠株式会社  
 宝ホールディングス株式会社  
 TOTO株式会社  
 日本電気化学株式会社  
 吉村建設工業株式会社  
 ワタベウエディング株式会社

学校法人京都女子学園  
 株式会社島津製作所  
 株式会社堀場製作所  
 株式会社ワコールホールディングス  
 京都新聞社  
 三機工業株式会社  
 為国印刷株式会社  
 ニチコン株式会社  
 野崎印刷紙業株式会社  
 若林設備工業株式会社

### 寄付者

オムロンビジネスアソシエーツ株式会社  
 株式会社ジーエス・ユアサビジネスエージェンシー  
 株式会社藤田産業  
 株式会社村田製作所  
 ニチコン株式会社  
 吉忠株式会社  
 ワタベウエディング株式会社  
 宇治警察署退職者有志

株式会社サギタリウス企画  
 株式会社島津製作所  
 株式会社ミラノ工務店  
 武田病院グループ  
 ユニチカ株式会社  
 ワコールサービス株式会社

個人5名



### 「性犯罪被害にあうということ」

性犯罪は、事件発生時に報道されることはあまりありません。被害者は被害に遭ったことを周囲の人にも言えず、警察にも届けず、被害に遭ったことを「なかったこと」として、早く忘れて生きようとしします。多くの性犯罪被害者がこのように考えて行動する傾向があるために、性犯罪は表面化せずに周囲の理解も得られにくい状況が生じます。

著者は自身が遭ったレイプ被害について実名で書き綴りました。自分に起こったことを自分自身の言葉で「誤解なく伝える」ことにより、性犯罪被害にあうということ「理解」しても



らえるのでは、と考えました。著者の苦悩や葛藤、心身の不調等知るにつれ、性犯罪が被害者に与えるダメージの大きさに読者でさえ押しつぶされそうになります。しかし、私たちは目を背けることなく、まずは事実を知らなければいけません。それが、性犯罪被害者を理解することへの第一歩となるのだから。

続編として「性犯罪被害とたたかうということ」が出版されています。この本は、性犯罪被害体験を実名公表した後の著者自身の変化、性犯罪事件の裁判員裁判に対する筆者の考え、性犯罪被害者との交流等が書かれています。ぜひ、併せてお読みください。

また、平成26年2月1日(土)に当センターと京都市の共催で開催予定の第14回犯罪被害者支援京都フォーラムにおきまして、著者である小林美佳氏の基調講演を予定しております。皆様のご来場をお待ちしております。

## 犯罪被害者支援活動を支援する自動販売機設置のお願い

支援の輪を広げるため、支援自動販売機の設置をしてくださる方(個人・団体)を募っています。ぜひとも、ご協力をお願いします。

京都犯罪被害者支援センターの活動を支える資金

- 犯罪被害者等への支援
- 調査研修活動
- 広報啓発活動
- 自助組織への支援
- 相談員の養成及び研修



ご支援をいただいている設置者  
株式会社サギタリウス企画(京都産業大学内)、株式会社藤田産業、株式会社ミラノ工務店、吉忠株式会社、吉村建設工業株式会社

府内の設置状況(平成25年10月末現在 10ヶ所15台)

### ●●● 支援活動状況 ●●●

(平成25年度:平成25年4月~平成25年9月)

| 月    |          | 4月     | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     | 9月     | 計        |
|------|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----------|
| 電話相談 | フリーダイヤル  | 20     | 21     | 20     | 19     | 17     | 11     | 108      |
|      | 451-7830 | 13     | 19     | 8      | 8      | 17     | 13     | 78       |
|      | 電話相談合計   | 33     | 40     | 28     | 27     | 34     | 24     | 186      |
| 面接相談 | 面接相談     | 13(6)  | 18(4)  | 16(5)  | 21(9)  | 17(12) | 10(5)  | 95(41)   |
|      | 内カウンセリング | 7      | 10     | 9      | 8      | 11     | 6      | 51       |
| 直接支援 |          | 20(15) | 46(30) | 42(24) | 67(46) | 31(22) | 35(11) | 241(148) |

( ) 数字は警察からの情報提供分



## センター活動報告(平成25年6月1日～平成25年10月31日)

- 支 援** 面接相談 39件  
 裁判傍聴 18件  
 裁判付添 8件  
 他機関等付添 5件  
 法律相談付添 10件  
 自宅訪問 1件
- 研 修** 犯罪被害者等支援施策市町村担当者研修会南部(6/4)、北部(6/11)  
 月例研修会(6/6、7/6、8/31、9/28)  
 期別研修会(6/6、7/6、9/28)  
 ロールプレイ研修(6/20、7/23、7/25、7/30)  
 質の向上研修上半期近畿ブロック(7/27、7/28)  
 人権啓発指導者養成研修会(8/6、8/20)  
 京のいのち支え隊相談・支援連携研修(8/28、9/3)  
 全国被害者支援ネットワークフォーラム、全国研修会(10/18～20)
- 広 報** 京都拘置所にて講話(6/7、6/20、7/5、8/5、8/12、9/2、9/9、9/24、10/11、10/21)  
 京都家庭裁判所にて講話(6/25、7/23、8/27、9/24)  
 温もりの電話全体研修会講師(8/19)  
 被害者サポートセンターおかやま研修会講師(9/7)  
 京都地方検察庁司法修習生研修講師(10/15)  
 京都弁護士会司法修習生研修講師(10/17)
- 会 議** 京都府警察学校専科研修講師(10/22)  
 府民相談相互連絡ネットワーク会議(6/6)  
 運営委員会(6/7、7/19、8/23、9/27、10/25)  
 京都府暴力追放運動推進センター定時評議員会(6/13)  
 機関紙編集会議(6/14、10/10)  
 女性のための相談ネットワーク会議(7/5)  
 全国被害者支援ネットワーク事務局長会議(7/12、7/13)  
 「配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護・自立支援に関する計画(改訂版)」改定に係る意見聴取会議(7/16、9/13)  
 京都府犯罪被害者支援連絡協議会総会(8/30)  
 配偶者等からの暴力に関するネットワーク京都会議(9/3)  
 京都市生活安全施策懇話会(9/6)  
 理事会(9/13)  
 預保納付金会議(9/17、10/21)
- その他** 定時社員総会、認定式、15周年記念講演会(6/22)  
 会計コンサルティング(6/24、7/31、8/28、9/24、10/24)  
 ホームページ更新(7/20、8/31、10/13)  
 ITコンサルティング(9/12)  
 京都府警察警務部長来局(9/20)  
 シンポジウム「性暴力と刑事司法」(9/29)  
 暴力・違法銃器追放京都府民大会(10/2)  
 Willの会(10/12)

## 第14回

犯罪被害者支援京都フォーラムを  
京都市とともに開催

日 時：平成26年2月1日(土)  
13:00～16:30

場 所：京都平安ホテル

内 容：「社会全体で被害者を  
支えるために」

## 基調講演

演題：「性犯罪被害にあうということ」

講師：小林美佳氏

## パネルディスカッション

テーマ：「犯罪被害者へのワンストップ  
支援を考える」

パネリスト：臨床心理士、弁護士、警察

コーディネーター：

京都犯罪被害者支援センター

## 会員になってください

一緒にセンターを支えてくださる会員を募っています。

|       |             |              |
|-------|-------------|--------------|
| 正 会 員 | 年会費 5,000 円 |              |
| 賛助会員  | 個人会員年会費     | 1 □ 3,000 円  |
|       | 法人以外の団体年会費  | 1 □ 3,000 円  |
|       | 法人会員年会費     | 1 □ 30,000 円 |

## ご寄付をお願いします

金額や口数に関係なく随時受け付けています。

## 振 込 先

振込口座：京都銀行 府庁前支店(普通) 3939038  
 口座名義：公益社団法人京都犯罪被害者支援センター  
 代表理事 大谷 實(オオヤミノル)

郵便振替口座番号：00980-0-128119  
 加入者名：公益社団法人京都犯罪被害者支援センター

当センターへの賛助会員の会費・寄付は、税制上の優遇措置が受けられます。

なお、現在、京都府、京都市に住民税を納税されている方は、住民税の控除を受けることができます。

お問合せは事務局までご連絡ください。また、ホームページからもご入会いただけます。

編  
集  
後  
記

紅く染まった木々の葉がちらちらと舞い落ちる季節となりました。落ちゆく葉には一年間のさまざまな思いが込められているように感じます。木々は落ち葉を肥やしとして、また新しい芽吹きをもたらし、新しい木々の生活を送っていきます。私達もこの一年間の活動を大切に、これからも支援を必要とされている方々の新たな一歩を支えていきたいと思っています。

## ホームページもご覧ください

<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/kvsc7830/>

発行者 公益社団法人京都犯罪被害者支援センター  
大谷 實

事務局 TEL & FAX 075-415-3008

E-mail kvsc7830@mbox.kyoto-inet.or.jp

印 刷 為国印刷株式会社

お 願 い：住所変更された方は、お手数ですが事務局までご一報下さいますようお願い致します。